



2019年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社エッチ・ケー・エス  
代表者名 代表取締役社長 水口 大輔  
(JASDAQ・コード7219)  
問合せ先 常務取締役財務部長 赤池 龍記  
電 話 0544-29-1111

## 2019年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2018年10月15日に公表いたしました2019年8月期第2四半期連結累計期間の数値と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想数値と実績値との差異について

2019年8月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(2018年9月1日～2019年2月28日)

|                                   | 売上高          | 営業利益        | 経常利益       | 親会社株主に<br>帰属する四<br>半期純利益 | 1株当たり<br>四半期純利<br>益 |
|-----------------------------------|--------------|-------------|------------|--------------------------|---------------------|
| 前回発表予想(A)                         | 百万円<br>3,325 | 百万円<br>▲103 | 百万円<br>▲97 | 百万円<br>▲106              | 円 銭<br>▲146.97      |
| 今回実績(B)                           | 3,529        | 19          | 57         | 31                       | 43.24               |
| 増減額(B-A)                          | 204          | 122         | 154        | 137                      |                     |
| 増減率(%)                            | 6.2          | -           | -          | -                        |                     |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(2018年8月期第2四半期) | 3,461        | 55          | 88         | 57                       | 79.38               |

#### 2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、メーカー受託の売上高が好調だったこと、アジア地域におけるオイル系商材が伸長したこと、および開発受託で下期に計画されていた売上高が前倒しで計上されたこと等の要因により、3,529百万円(前回予想比204百万円の増加)となりました。

損益面につきましては、売上高が増加したこと、および上期に計画していた試験研究費が下期にずれ込んだこと等により販売費及び一般管理費が前回業績予想に対して減少したこと等から、営業利益は19百万円(前回予想比122百万円の増加)となりました。また、為替差益10百万円の計上等により経常利益は57百万円(前回予想比154百万円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円(前回予想比137百万円の増加)となりました。

#### 2. 通期連結業績予想数値について

当第2四半期連結累計期間終了時点において、営業利益等が当初予想を大きく上回る状況となっておりますが、上述の通り、売上高の前倒しおよび販売費及び一般管理費の下期へのずれ込みがあったこと、また、下期に計画していた開発受託の売上高の一部が翌期へずれ込むこと等から、通期の業績予想につきましては前回予想を変更していません。

以 上